

スリランカ

Vol.1 カレーな食卓



今回からは、スリランカ生まれで現在日本にお住まいの、サムソン・ラージャパクシャさんにお話を伺いました。

サムソンさんは、スリランカのどちらにお住まいだったのですか？

わたしが住んでいたところは、コロンボから車で1時間ぐらい離れたところでした。
家の前には、小さな列車の線路が3本あり、普通の大きさの列車と小さな列車が交代で走っています。スリランカでも、このようなところはここしかなく大変珍しいと思います。
それに、大きな川が家の近くを流れていました。
わたしの家はゴム園を営んでいるので、土地の80%ぐらいにゴムの木が植えてあります。
すぐそばには、スリランカに初めてゴムの木を植えたイギリス人のゴールドデン・ブルークさんの住んでいた家があるのですが、今その家は、映画の撮影に使われることが多いです。
また、村の至る所に宝石の採掘場があります。30年ほど前には、わたしの家の土地からも宝石が出たこともあるんですよ。

日本に来て驚いたことは何ですか？

スリランカでは生の魚をそのまま食べるという習慣が無かったので、お刺身をおいしそうに食べている人を見たときは、とても驚きました。
また、お風呂のお湯を変えずに何人も入るのにもびっくりしましたね(笑)。今は慣れましたが、初めは少し戸惑いました。
あとは、お箸を使って器用に食事をする光景にもびっくりしましたね。

日本の食事で好きなもの、嫌いなものがあれば教えてください。

すし、てんぷら、煮物、鍋物、すき焼き、うどん、そば等、日本の食べ物は、どれも美味しいので好きです。わたしは名古屋に住んでいるのできしめんも好きですね。
あとは、漬物もよく食べます。

日本で行ったことがある場所のうち好きな場所はありますか？

京都、奈良などお寺があるところが好きです。自然の多い山へ出掛けるのも好きですね。

スリランカで普段良く食べられているメニューはなんですか？

香辛料を使った料理が多く、インドと同じようにカレーがメインの料理です。
カレーパウダーに色々な種類の香辛料を混ぜて作ります。
ですから、日本に来てチョコレートのような形のルーを見たときは驚きましたね。
カレーの種類も本当に色々なものがあり、具によって使う香辛料も変えます。肉や魚のカレーには、にんにく、しょうが、シナモンなどを使い臭みを消します。野菜のカレーには、モルディブフィッシュという、日本で言うところの鰹節を、包丁で削って入れます。
また、先に作ったルーを、ハーブやにんにくと一緒に炒めたものを「テンパラードゥ」と呼んでいます。
他にも、「マールワ」と呼ばれている煮込み料理や、野菜、魚、豆、芋などを使った「リパウン」という炒め物があり、カレーとは区別されています。
このように、カレーパウダーを使った料理はたくさんありますよ。



日本で暮らしてみて改めて感じた、スリランカのいい所はありますか？

古い仏教の遺跡がたくさんあるところです。観光客もたくさん訪れています。
それに、野生の動物やきれいな鳥、魚もたくさんいますし、果物が沢山あるのもとてもいいですね。あとは、暑い国なので衣服にお金がかからないところでしょうか(笑)。
ただ、今も内戦が続いているため、国の発展がとても遅いところや、人々の暮らしの差が激しく、盗みや強盗が多いことがとても悲しいです。



では逆に、日本で暮らしてみて感じた、日本のいい所や悪いところはあるですか？

良いところは、物がたくさんあり、遊びのいいところも多いこと、おいしい食べ物がたくさんあることです。それに、日本の方はみなさんとても親切です。
ただ、夏の湿度の高い暑さはあまり得意ではありませんね。それに、物価が少し高すぎると思います。

カレーと一言で言ってもたくさんの種類があるスリランカでは、何種類ものカレーが食卓に並ぶこともあるそうです。
今回は、スリランカの「お祝い事」についてお届けします。

スリランカ



Vol.2 仏教の国スリランカのお祭り

前回に引き続き、スリランカ出身のサムソンさんにお話を伺いました。
今回はスリランカの「お祝い事」について教えていただきました。



それでは、スリランカのお誕生日について教えてください。
パースデーケーキの定番はどんなものでしたか？

パースデーケーキは、アイシングで飾った色とりどりのとても甘いケーキです。

日本のものより堅めに出来ています。これは、手で持って食べることが多いせいかもしれません。

そのほかにもココナッツを使ったケーキや、果物のケーキ、黒砂糖のケーキ、甘い香辛料のケーキなどもあります。



プレゼントにはどんなものを用意しますか？

装飾品や時計などですね。あまり日本と変わらないかもしれません。

誕生日にメインディッシュになっているメニューは？

スリランカの食事は、香辛料を使ったカレーがメインで、パースデーでも同じです。

カレーの種類は、たくさんあるのでどのぐらいかわかりません。だいたいどんな食材でもカレーにします。一般的には、50種類くらいはあると思います。人気があるのは、チキンカレー、魚カレー、かぼちゃカレー、ジャガイモカレーなどです。

それでは仕事とお祝い事の優先度はどちらですか？

仕事です。

誕生日パーティは、休みの日や平日でも夜にすることが多いです。

家族で祝うのはいくつくらいまでですか？

離れた所に暮らす家族の誕生日はどのように祝いますか？

子供の時は、家族で祝いましたが、大きくなってくると家族ではなく、友達同士で祝いますね。

離れて暮らす家族には、カードやプレゼントを送ってお祝いの気持ちを伝えますよ。



その他にお誕生日に関するエピソードはありますか？

わたしは、双子なので、小さい頃は誕生日にお母さんが、弟とおそろいの服を作ってくれました。

そして、とても好きだったキャラメルのようなお菓子も作ってもらいました。

このキャラメルはどこの家でもよくつくります。そして家によって少しずつ味が違います。

日本のちまきのような、木の葉でくるんで蒸すお菓子もあり、田舎ではよく作ります。

クリスマスはどんなお祝いをしますか？

スリランカは国民の80%が仏教徒なので、クリスマスのお祝いはしない人のほうが多いです。

でも、キリスト教の人は教会に行ったり、いろいろなイベントを楽しんでいます。パーティでは、肉料理がメインで、お酒もよく飲むようです。

それでは、その他スリランカならではの祭りはありますか？

スリランカでは、たくさんのお祭りがあります。

4月、お正月です。

お正月には、各地で運動会やミスコンテストなどが開催され、仏教徒は、お寺へお参りに行きます。

5月、仏教の最大のお祭り、ヴェサックがあります。

お釈迦様の生まれた日、悟りをひらいた日、亡くなった日、この3日を表すお祭りです。このお祭りでは、街中きれいなイルミネーションで飾られ、仏教のいろいろな物語の芝居や、パレードなどが行なわれます。パレードでは、きれいな飾りをつけた象がたくさん歩いていきます。

街のイルミネーションだけでなく、家にもイルミネーションが飾りつけられます。

これらのイルミネーションは3週間くらい続きます。

6月、7月も仏教のお祭りがあります。

6月、インドからスリランカへ仏教が渡った日を祝うものです。お寺にお参りに行き、各家にもイルミネーションをつけられます。

7月、インドからスリランカへ菩提樹をもってきた日を祝うものです。こちらもお寺にお参りに行きます。

その他にスリランカでは、満月の日(ボヤデー)は神聖な日とされていて、学校や多くの会社は休みになるんですよ！



個性豊かでかわいらしいパースデーケーキたち。こんなケーキでお祝いしてもらえたら、大切な誕生日がより一層思い出深いものになりそうですね。

今回は、スリランカの「結婚式」についてお届けします。

スリランカ

Vol.3 結婚式はサリーでお祝い



今回はスリランカの「結婚式」について伺いました。

スリランカの結婚に関して何か日本とは違った風習などはありますか？

結婚の前に調べなければならないものがあります。
スリランカでは、赤ちゃんが生まれるとすぐに人生を占ってもらい、それを巻き物のようなもの書き記して残す風習があって、結婚前にはそれを見て相性が合うかどうかを調べるんです。
それがあわないと結婚することができないんですよ。

それでは、結婚が決まった場合、結婚式はどのように進められますか？

結婚式はほとんどの場合、自分の家で行われます。
パーティは3日間あって、親戚や近所の人、友達が出席します。
その3日間は、それぞれ1日ごとにすることが決まっています、それに沿って行なわれます。
結婚式のメインの行事は、初日に新婦の家で行われる儀式です。花嫁の家に、花婿が親戚や友人と一緒にいき、そこで伝統的な行事と宗教的な行事を行ないます。
椰子(やし)の実や葉、椰子の油のランプを使い、白鳥、孔雀、象などの飾りをつけ、色鮮やかな布が敷かれた特別なステージが設けられます。その上に新郎新婦が上がり、アシタカと呼ばれるお経を1時間ぐらいあげます。その間新郎新婦は、ずっと立ったまま同じ姿勢でいなければなりません。
その3日間は、それぞれ1日ごとにすることが決まっています、それに沿って行なわれます。
それが終わると、豪華な食事で花婿と親戚、友人をもてなします。



結婚式の食事はどんなものですか？

料理については、結婚式の1ヶ月ぐらい前から準備が始まります。まずは、香辛料やお菓子の材料を集め、長持ちするものから作り始めます。

式の1週間ぐらい前になると、親戚や友人が泊まりにきて準備を手伝います。食事をするための建物を庭の一角に作り始めるのもこの頃ですね。伝統的な飾りをつけた、とても色鮮やかなものです。

そして当日のメニューは、香辛料を多く使ったものが中心です。魚や肉のカレー、野菜のカレー、炒め物、揚げ物、サラダ、スープなどです。お酒も振舞われ、デザートにはフルーツサラダがよく出されます。

この食事のふるまい方が特徴的で、招待客が入れ替え制なんです。

最初の食事は11時ぐらいから始まります。1回に100人ぐらいがテーブルを囲み、新郎新婦もお客さんと一緒に食事をします。食事が終わると、次のお客さんのための料理がテーブルの上に並べられ、新郎新婦はまた一緒にテーブルを囲みます。これを3回ぐらい繰り返すんですよ！

食事のあとお客さんは、新郎新婦にお祝いの言葉をかけます。

食事が全て終わると歌や踊りが始まります。そして、またお祝いのスピーチがあり、スピーチを聞きながらお菓子や飲み物をいただきます。



スリランカ特有の花嫁衣裳などはありますか？

結婚式ではすべて新しいものを着て、装飾品はできる限り豪華なものを身につけます。

スリランカの花嫁衣裳は白いサリーですね。サリーはスリランカの民族衣装で、日本の花嫁が白無垢を着るのと同じだと思います。

サリーは形や色の違いで様々な意味を表すんです。

例えば、新婚旅行から帰る日(Home Coming Day)にも花婿の家でパーティをするのですが、この日は、金の糸で豪華な刺繍がされた赤いサリーを着ます。赤いサリーは結婚したことを意味するんですよ。花嫁は赤いサリーを身に着けたとき結婚を強く実感するのではないのでしょうか。



親戚や友人達と手作りで準備する結婚式。大勢の招待客に囲まれ賑やかに過ごすこの日は、新郎・新婦にとって最高の1日になりそうですね。
今回でスリランカのお話は終わり。次回からは香港についてご紹介します。